

| | | | | | | | |
|------|--------|------|----|------|---|------|------|
| 科目名 | 学習心理学Ⅱ | | | | | 単位 | 2.0 |
| 担当教員 | 塚本 恵信 | | | | | | |
| 授業形態 | 講義 | 開講期間 | 後期 | 配当年次 | 3 | 授業番号 | 2113 |

●授業のテーマ
行動の形成と変容

●到達目標
学習の原理を知り、人間行動への理解を深める。
オペラント行動の形成と変容について理解する。
社会的学習について理解する。

●学習内容(授業概要)
「学び」は日常生活のあらゆる場面にかかわる重要な心理プロセスである。本科目では学習理論に関する理解をさらに深め、人間の行動形成や変容について考察する。授業では、まず行動の学習理論：オペラント条件づけについて学ぶ。さらに社会的学習や技能学習について学ぶ。

●学習内容(授業計画)

《後期》

1. オリエンテーション
2. 行動の原理(1)
3. 行動の原理(2)
4. 行動の定義と測定
5. オペラント条件づけ(1)強化①
6. オペラント条件づけ(2)強化②
7. オペラント条件づけ(3)消去
8. オペラント条件づけ(4)強化スケジュール
9. オペラント条件づけ(5)弱化
10. オペラント条件づけ(6)弁別・般化
11. 技能学習(1)
12. 技能学習(2)
13. 社会的学習(1)
14. 社会的学習(2)
15. 総括

●準備学習・事後学習の内容

テキストを一読し、授業内容の復習とノートの整理をしておくこと。身近な日常行動に関連づけて考察するとよい。

●成績評価方法・基準

筆記試験(70%)及び小レポート(30%)で理解度を評価する。出席や受講の姿勢が劣悪な場合は減点評価する。

●テキスト（必携）

≪No.1.≫書籍名：コンパクト新心理学ライブラリ2 学習の心理—行動のメカニズムを探る、著者名：実森正子・中島定彦（著）、出版社：サイエンス社

●参考文献／その他

<参考文献>

『グラフィック学習心理学—行動と認知』山内光哉・春木豊（編著）サイエンス社

『行動変容法入門』レイモンド. G. ミルテンバーガー（著）二瓶社

『はじめての応用行動分析』P. A. アルバート & A. C. トルートマン（著）二瓶社

●履修上の注意

講義内容は必ずノートに整理し理解に努めること。人間理解への意欲をもって真摯な姿勢で受講に臨むこと。